

第2回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

1. これまでの経緯

令和 元年 7月 24日

遠賀川流域生態系ネットワーク形成に向けた取組の経緯

遠賀川流域生態系ネットワーク検討委員会【学識者】 第1回(平成27年2月25日)～第5回(平成29年8月18日)

- 遠賀川流域における生態系ネットワーク形成の促進に向けて(提言)
 - ・現状と課題を整理し、今後の方向性について提言(平成29年8月18日)

遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会に向けた準備会【行政機関】
第1回準備会(平成30年2月26日開催)、第2回準備会(平成30年6月27日開催)

遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会【行政機関】

第1回 推進協議会(平成30年8月1日)

- 遠賀川流域における生態系ネットワーク形成のための取組方針を策定

取組の状況や課題等を把握するためにアンケート、ヒアリングを実施
アンケート(平成30年11月)、ヒアリング(平成30年12月～平成31年1月)

第1回 作業部会(平成31年2月28日)

- 関係機関アンケート及びヒアリング結果報告・環境に関する情報が不足、外来生物の知識が不十分
- 今後連携・協働できそうな取組みについて意見交換
 - ・特定外来生物の勉強会を開催し、遠賀川一斉清掃とあわせたオオキンケイギクの駆除に取り組む

特定外来生物の勉強会を開催(令和元年5月21日)

第2回 作業部会(令和元年6月27日)

- 取組についての状況報告
- 連携・協働する取組について意見交換(グループ討議)

第2回 推進協議会(令和元年7月24日)

- 取組についての状況報告
- 連携・協働する取組について

第1回作業部会（平成31年2月28日） 要旨

【議 事】

1. 平成30年度のおさらい（準備会、協議会設立）
2. 関係機関アンケート及びヒアリング結果報告
 - ・各機関のホットスポットを把握できた。課題として、予算が少なく環境調査ができず生物分布、環境に関する情報が不足、希少な生物、外来生物の知識が不十分等が挙げられた。
 - ⇒取組方針の重点項目でもあるホットスポットを生態系情報図に集約・情報共有、特定外来生物勉強会の開催等の取組みへ
3. 今後連携・協働できそうな取組について意見交換（下表参照）
4. 今後のスケジュール

内容	今後連携・協働できそうな取組 意見交換	対応方針
一斉清掃 の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃の記者発表をした際に、記者の方から開催日を同じにしてはどうかと意見があった。発信力という流れからすると流域全体で大きなイベントとして開催してはどうか。今やっていることをまず情報発信するのが一番早いのかという印象。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記者発表をするときは、いつ・どこで・どのような方が行うという一覧表をつけている。発信の工夫を行っていく。
外来生物 の駆除等	<ul style="list-style-type: none"> ・オオキンケイギクを駆除していくため、清掃で活動している団体へチラシ等の資料を配布し啓発することで意識が高まっていくのではないかと。 ・オオキンケイギクが外来生物ということを職員でも知らない事が多い。なぜいけないかも啓発し、職員も含め、市民の方の知識を向上できればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・流域全体の取組として、春の遠賀川一斉清掃の中で、ゴミを拾って回る際にオオキンケイギクの駆除に取り組む。 ・特定外来生物のチラシを清掃を行っている団体へ配布 ・特定外来生物の勉強会を開催する。 ・一斉清掃でのオオキンケイギクの駆除について作業部会で報告する。



特定外来生物の勉強会(令和元年5月21日)要旨

- 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会の実務担当者と遠賀川河川協力団体会議の地域の方と一緒に特定外来生物勉強会を開催した。
- 特定外来生物はなぜ悪いか、オオキンケイギクの見分け方、駆除方法、オオキンケイギクの分布について情報を共有、勉強した。
- 意見交換では、特定外来生物の侵入経緯・経路、他の生物への影響、分布のしやすさ、駆除の事前手続き方法、除草剤による駆除、他の生物との違い等について意見交換した。
- 近年の遠賀川沿いのオオキンケイギクの分布について報告した。

【議 事】

1. 特定外来生物について

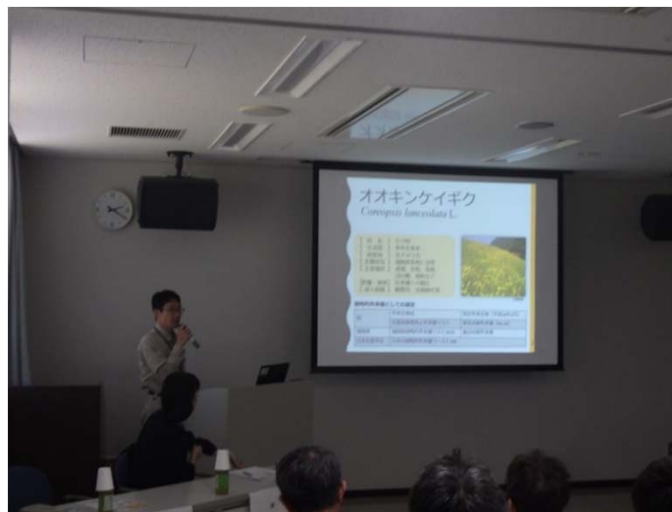
・講師:福岡県環境部自然環境課 横山主任主事

2. オオキンケイギクの駆除について

・講師:福岡県保険環境研究所環境科学部環境生物課 金子研究員

3. オオキンケイギクの分布調べ

4. 今後のスケジュール



第2回作業部会（令和元年6月27日） 要旨

【議 事】

1. 取組の経緯と第2回作業部会の位置づけ

2. 取組についての状況報告

- ・特定外来生物オオキンケイギク駆除の取組、HP等による情報発信、生態系情報図による情報共有、取組に関するトピック(話題提供)について報告。

3. 連携・協働する取組について意見交換（下表参照）

- ・アクションプラン作成のための着眼点・留意点の理解を深めるためにグループで議論した。

4. 今後のスケジュール

グループ	連携・協働できそうな取組 意見交換
遠賀川下流	<ul style="list-style-type: none">・ ホテル観賞にあわせた清掃活動と外来生物駆除を組み合わせると良い。・ 黒川と遠賀川中島を巡る生態系ツアーも面白い。・ 西川のサケの放流と遠賀川河口の魚道公園をあわせた生物勉強会も良い。・ 遠賀川下流から上流にサイクリングロードが通っているので地域間の連携ができると良い。
遠賀川上流	<ul style="list-style-type: none">・ カヌー教室で安全教育、清掃活動もあわせて実施している。・ カヌーで川下りは上流・下流との地域交流にもなる。・ ホテル、コウノトリの位置をホテルマップ等でリアルタイムで情報発信・情報共有できると良い。・ 若者による休耕田を利用したお米づくり、お酒造り、20歳になったら自分で地元のお酒づくりで郷土愛にもつながる。
彦山川	<ul style="list-style-type: none">・ 清掃活動とゴミに関する環境学習、川の生物の環境学習を組合わせた上で情報共有すると良い。・ 川の環境学習の場、山の歴史的な場所をあわせてHPで情報提供できるとよい。(流域の環境と歴史を一緒に学ぶ)

